



# フージャースコーポレーション東京が進出

## 日本海側初、マンション展開

北陸新幹線の金沢開業を2年後に控え、県都金沢で、マンション建設の動きが活発化してきた。首都圏を中心にマンション事業などを展開している、フージャースコーポレーション（東京都千代田区神田美土代町、廣岡哲也代表取締役）が北陸はもろろん、日本海側で初めて、金沢市内でマンション事業を展開することが2月28日、明らかになった。

### 金沢市玉川町で用地確保

社名の「フージャース」はアメリカ中部インディアナ州民の愛称で、豊かな住環境に恵まれた同地にあやかり、「日本の住まいを豊かにする」という理念を掲げ、新築マンション・戸建ての企画・分譲事業を首都圏エリアなどにおいて展開している。

今回、同社が日本海側で初めてマンション事業を展開している場所は、JR金沢駅から徒歩数分の距離にある金沢市玉川町地内で、敷地面積は2843・15平方メートル。事業名は「金沢市玉川町マンションプロジェクト（仮称）」としている。周辺には図書館などの公共施設をはじめ、近江町市場や武蔵地区の商業施設なども徒歩圏にあり、住環境としては最高の条件を備えている。

同社の北陸エリアにおける事業展開については、京都支店（京都市下京区、山中琢人支店長）が担当し、金沢でのプロジェクトを機に、関西や北陸といった首都圏以外の事業エリアの拡大に注力して

いく。

金沢市内では昨年からは大和ハウス工業の「金沢広岡マンション新築工事」が地鎮祭を行ったばかりで、今年2月に都庁型マンションが相次いで着工。ここに来て一気にマンション供給が高まった格好だ。

同社の北陸エリアにおける事業展開については、京都支店（京都市下京区、山中琢人支店長）が担当し、金沢でのプロジェクトを機に、関西や北陸といった首都圏以外の事業エリアの拡大に注力して

欲しかった暮らしを、しよう。

